



八島町内の檀家で奉納

# 八島の六齋念仏

## 奈良市 八島町内

### 八島の六齋念仏とは？

もともとは、六齋日の精進潔斎のため行っていたらしいのですが、今は、3月15日、8月7・13・14日と、葬儀の翌日に鉦を使った鉦念仏と太鼓を使う太鼓念仏を奉納しています。

鉦念仏は、手に持った20cmほどの鉦を叩きながら念仏を唱えます。太鼓念仏は、鉦と2つの太鼓を叩きながら念仏を唱えたり、太鼓だけを叩いたりします。

鉦念仏は「シゼン」「ハクマイ」「バンドウ」、太鼓念仏は「念仏行者」「地獄、地獄」「西院の河原」のそれぞれ3曲で、奉納する曲は、時期や場所、目的によって決まっています。

3月15日と8月7日は公民館で、13日は新仏へ奉納します。14日は、14時頃から町内の檀家や辻の地蔵の前、墓地の六体地蔵の前や墓地全体に念仏を唱えた後、最後は公民館の諸仏へ奉納します。14日は、町内を回るの、終わるのは21時を超えます。

### 曲の練習や道具の管理は？

8月の奉納に向けて、7月の毎週土曜日に鉦を持って集まり、練習をします。



3月は室町時代から続く掛け軸の前で奉納(写真:大念佛寺)

奈良市八島町内の融通念仏宗の檀家で行われる伝統行事です。「八島町六齋念仏鉦講」の今里泰彦会長と今里幸彦副会長にお話を伺いました。

鉦は、各家で保管されています。全部で20個あり、今は14軒の家の戸主が管理しています。戸主が亡くなると、いったん返還されますが、次の戸主になる人に渡され代々引き継がれてきました。鉦はかなりの年代物で、いつ製造されたかはっきり分かるものは数個しかなく、「寛永18年(1641年)」と記入されたものがあります。記述はないですが、もっと古い鉦もあるかもしれません。

### 伝統をつなぐためには？

六齋念仏は、もともと県内各地で行われていましたが、今は、ここ八島町と安堵町だけになっています。八島町に伝わる念仏は、節回しが難しく、長い曲では18分ありますが、口承されてきたため、譜面などの記録もありませんでした。今は、鉦を引き継ぐ軒数も減っており、後継者が課題です。

伝統行事をつないでいきたいと新しく加わってくれる家もあり、歌詞を紙で残したり、映像で記録したりと後世へ引き継いでいくように取り組んでいます。



今里泰彦会長(左)と今里幸彦副会長(右)

行って  
みよう!

奈良市 八島町内 時8月14日  
八島町内の地蔵などへ奉納されます

八島町の県道  
188号線沿いの地蔵

